

令和7年10月31日

福島県中小企業団体中央会
会長 佐久間 信幸 様

公益財団法人 福島県消防協会 会長



福島県 知事



消防団員加入促進に係る協力要請書

本県の消防団活動につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を頂き厚く御礼申し上げます。

近年、大規模な自然災害が全国各地で頻発し、本県でも令和元年東日本台風を始め、令和3年2月及び令和4年3月の福島県沖地震、令和5年9月の線状降水帯による豪雨など、度重なる災害に見舞われており、常に危機に備えた迅速かつ的確な対応が求められております。

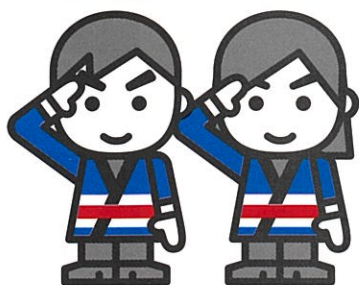
こうした中、消防団においては、火災や災害等が生じた際にはいち早く現場に駆けつけ必要な初期対応を行うなど、「地域の消防・防災力の要」として大きな役割を果たしてきましたが、社会環境の変化等により、団員数の減少や高齢化の進展など様々な課題に直面しております。

このため、消防協会と県では、関係機関と連携しながら、消防団員入団促進の取組を進めているところですが、本県の消防団員に占める被雇用者団員の割合は約8割と高く、何よりも事業所の方々の消防団活動に対する一層の御理解と御協力が不可欠となっております。

つきましては、貴会におかれましては、趣旨を御理解いただき、会員の皆様に対し、雇用されている方々への入団の働きかけや、被雇用者団員の出勤に際しての休暇取得の柔軟な取扱いなど消防団に入団しやすく活動しやすい職場づくりに加え、災害時における事業用資機材の消防団への提供、消防団や消防団員を応援し支える「ふくしま消防団サポート企業」への登録など、消防団活動を支える社会づくりに御協力くださるよう周知方お願い申し上げます。

地域を守る 消防団員募集中！

今、あなたの力が
必要です！



- 消防団入団に関するお問い合わせは、お住まい地域の市役所、町村役場、または消防本部までお気軽に。



ホームページ



消防団への 応援メッセージ

消防川柳「Fireエール五・七・五」
入賞作品



ふくはっぴい賞

汗だくで火を消す父に 金メダル



エール賞

火事無くす決意とともに夜廻へ

団員の労苦に感謝ありがとう

出動だ帽子とる手に妻の顔

入団は地域を守る第一歩

過疎なれど半被の力町守る

頑張つて夜警に手を振る我が息子



福島県消防協会
マスコットキャラクター
ふくはっぴい

きん じょ 自助・共助・公助そして近助

向こう
三軒両隣、
ご近所さんと
助け合おう

あなたも消防の仲間になりませんか

消防団とは

消防団は、市町村の非常備の消防機関であり、その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。地域住民の安全・安心のために訓練や器具の点検、昼夜の火災への出動、災害時の警戒といった防災活動や、火災を未然に防ぐ予防消防にも取り組んでいます。

消防団の 特徴

地域密着性 管轄区域内に居住、勤務または通学

要員動員力 県内の消防団員数は約28,600名、消防職員数は約2,600名

即時対応力 管轄区域内に居住、勤務または通学



消防団員は

他に本業を持っており、火災や大規模災害発生時には自宅や職場から現場に駆け付け、消火活動等を行います。専任の職員として、消防本部や消防署に勤務している消防職員との違いです。



平常時の 活動

消火・防災訓練

火災現場での活動を想定した訓練（放水訓練など）を行っています。また、各地域で開催される防災訓練で自主防災組織等への訓練指導などを実施しています。



救急・救命講習会

万が一に備えて、救急車が到着するまでの応急手当やAEDの使い方などの講習を受講しています。



防火啓発活動

火災予防週間には防火パレードなどの啓発活動や、防火パトロールで地域の防災広報活動を行っています。



災害時の 活動

消火活動

火災発生時には、自宅や職場から現場に駆け付けます。消火活動や消防署の後方支援など、その場に応じた活動を行います。



捜索・ 救助活動

大規模災害発生時などに地域をよく知る立場から、他機関と連携をとって、捜索・救助活動を行います。

水防活動

台風などの風水害の時には、警戒パトロール、河川の水位の警戒、土のう積み、避難誘導のほか、排水・浸水防止策など迅速に対応します。



●消防団入団に関するお問い合わせは、お住まい地域の
市役所、町村役場、または消防本部までお気軽に。

公益財団法人
福島県消防協会

福島消防新聞(臨時発行号) 14-0701
発行／(公財)福島県消防協会 024-522-5974